



第 10 回例会報告(9月15日)

【出席報告】

・会員数	54名	・出席数	34名	・欠席数	20名
・当日出席率	75.00%	・前々回修正出席率	100%		

<欠席会員> 藤田、原、檜垣(巧)、菅、吉良、桑森、松木、越智(務)、大澤、竹田、藤堂

〔免除会員〕青野、原田、門田、金森、松本、宮本、村上、白石、八木

<9/1 欠席補填>(8/30 今治南)檜垣(直)、平尾、桑森、島田、田中、矢野 (9/6IAC)藤田 (9/13 今治南)原、檜垣(巧)、越智(務)、竹田

幹事報告・10月6日(木)清掃奉仕・早朝例会を開催。市民の森フラワーパークを清掃。清掃開始は早朝6:30から、例会7:00から。パン飲み物をご用意しております。(バッジの着用をお願い致します。)

親睦活動委員会・お誕生日スピーチ・光藤廣司会員：父が75才で他界しました。父親の享年までは健康に気をつけながら生活してきました。ひとまず目標は達成し、一つの区切りがついた気分です。目指すは100歳。自分らしく楽しい人生で有意義なものにし、さらには地域社会に役立つ人生にしようと思っています。

飯パストガバナーよりピアノ寄贈事業報告・2520地区被災地へのピアノ寄贈事業へ参加しました。バンコクサウスRC、2500地区(北海道東部)2670、2680地区が共同パートナーとなり、盛岡北RCを受け入れクラブとしてのマッチングプログラムとしてピアノ7台を小学校へ贈呈しました。式典は大槌町で唯一流出被害を免れた吉里吉里(きりきり)小学校で行われました。寄贈式では美しい歌声に涙する感動的な式典でした。「ピアノ贈呈ははじめての一步です。これからRCは何をするべきかを見定めてください」と問いかけがありました。

新世代奉仕委員会アワー

村上会長:新世代奉仕における2つの大きな軸別に問題を提起し、当代会長としての解決案提示し、会員諸氏のご意見をいただきたい。西高インターアクトクラブの活性化と会員増強について 問題点: IACへの積極的な参加が見受けられず、会員数が減りつつある。 解決策: 今治西高校長の藤田会員を訪問し、IAC活動について話し合いを持った。学校側へ会員増強への協力、指導教員の充実のお願いをした。IAC活動に積極的に参加し、『奉仕することの楽しさ』を実感してもらうべきである。成功例としてはケーキやクッキーを作り、それをもとに義捐金集めをし、社会に奉仕したと実感できる場を与えること。面白いと感じることが多ければ、会員増強につながるのではないかと。また、校長先生には新学期にあいさつに出向き、例会出席をお願いする。

今治青少年友の会サマーキャンプについて 問題点: 現在のサマーキャンプはキャンプ場へ行き、食事を作ることが最終目標となっている。キャンプ活動で得られる貴重な経験をすることなく終了しているように思う。また、子供たち自身の時間・自己管理の甘さ、危険予知能力の低下、性非行などが懸念される。また、万が一事故が起こった際の責任の所在がはっきりしない。RC会員の積極的な姿勢が無い事も懸念される。 解決策: 以前、今治ボーイスカウト隊長の岡本健一氏に、当サマーキャンプの準備不足を指摘された。キャンプ活動を行うにあたり、子供たちが自主的に計画を立て、方向性を見いだせるのか。この点については大いに反省するところである。RC会員自身が積極的に新世代活動へ参加する必要がある。理想的な例として、10年ほど前にポリオ撲滅キャンペーンの街頭募金活動をした。これは子供たちもRC会員自身も活動の範囲を広げることができ成長した良い事例です。

<ゲスト> 大阪西RC 桑森章様<弁護士>

次回例会(9月22日)

【市長卓話】

<会員誕生日祝>	吉田 透氏(10/8)		
<配偶者誕生日祝>	門田 精二氏(9/24)	檜垣圭之介氏(9/28)	檜垣 巧氏(9/28)
	宮本 哲夫氏(10/3)	村上 裕一氏(10/3)	高木 幹男氏(10/3)
<結婚記念日祝>	檜垣 直孝氏(9/23)	菅 主浩氏(9/30)	高木 幹男氏(10/1)
	藤堂 宗昭氏(10/2)	原 竜也氏(10/4)	久米 操氏(10/4)
	栗西 伸彰氏(10/7)	檜垣圭之介氏(10/10)	
	檜垣 俊二氏(10/10)	越智 健司氏(10/10)	越智 務氏(10/12)
<入会記念日祝>	檜垣 巧氏(10/1)	吉良 敏彦氏(10/1)	門田 精二氏(10/4)

[笹]